

令和8年8月31日

独立行政法人水資源機構

関西・吉野川支社 淀川本部

木津川ダム総合管理所

渇水対策本部及び支部の設置について (淀川本部、木津川ダム総合管理所及び室生ダム)

木津川ダム総合管理所管内各ダムの流域では、7月以降、降雨が少ない状況が続いています。

木津川ダム総合管理所管内の各ダムでは、河川に必要な水量や水道用水を確保するため、ダムに貯留している水を継続的に放流していますが、室生ダムの貯水率が8月29日で50%を下回り、今後、まとまった降雨がなければ、さらに低下することが見込まれます。

この状況を踏まえ、渇水対策を適切かつ円滑に行うことを目的として、8月31日（月）9時より独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社淀川本部及び木津川ダム総合管理所に渇水対策本部を、室生ダム管理所に同支部を各々設置しましたのでお知らせします。

今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、適切な渇水対応を行ってまいります。限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。

発表記者クラブ：近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、大阪市政記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ、三重県政記者クラブ、名張市政記者クラブ、橿原記者クラブ、桜井市政記者クラブ

お問い合わせ先：（渇水対策本部設置に関すること）

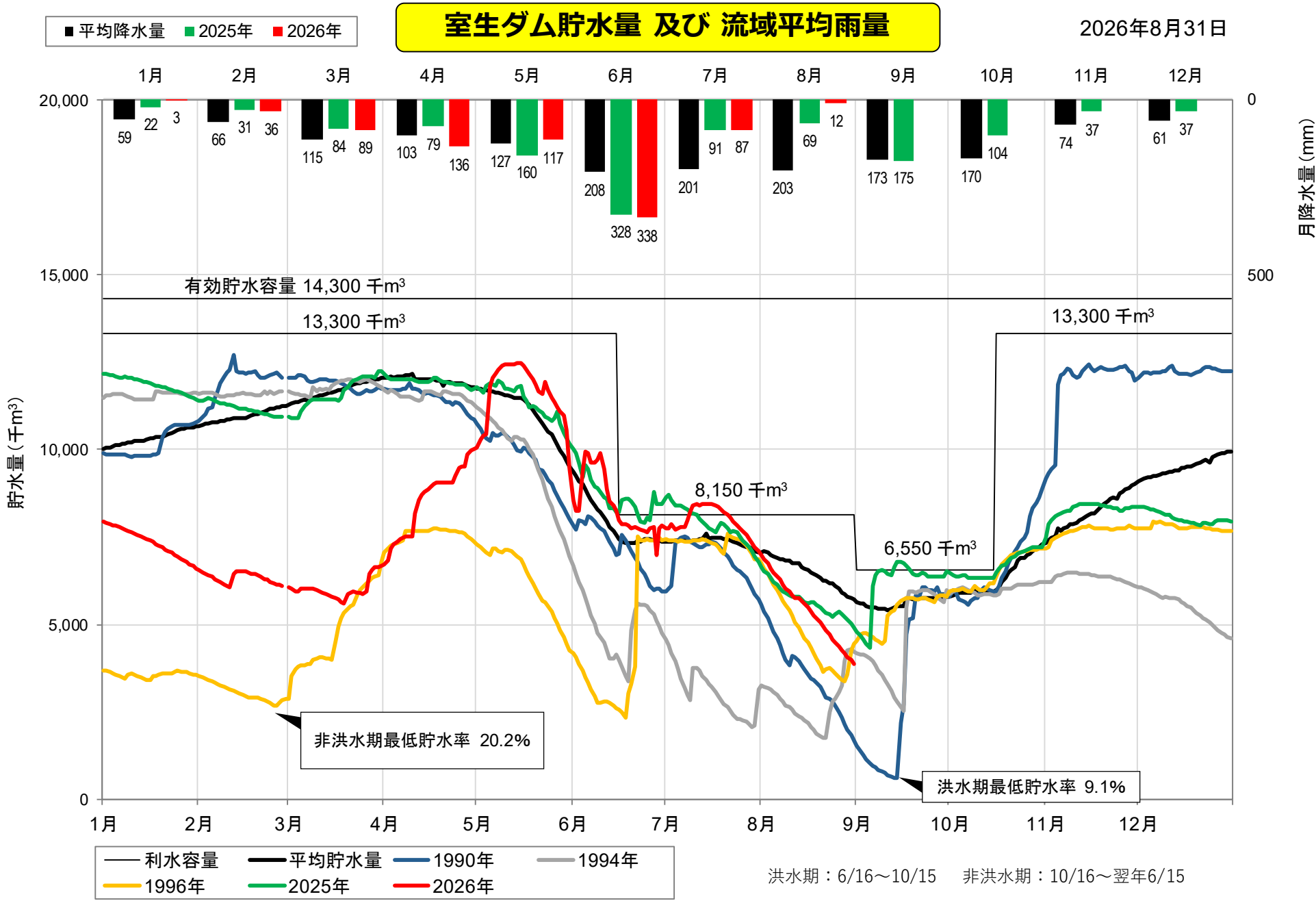
関西・吉野川支社 淀川本部 施設管理課長 尾島（おじま）○
総務課長 横江（よこえ）

電話：06-6763-5182（代表）

（室生ダムに関すること）

木津川ダム総合管理所 管理課長 常松（つねまつ）○
副所長 小林（こばやし）

電話：0595-64-8961（代表）



木津川ダム総合管理所管内各ダムの貯水量及び貯水率

令和8年8月31日 0時現在

ダム名	利水容量(千m3)	貯水量(千m3)	貯水率	平年の貯水率
高山ダム	13,800	13,021	94%	89%
青蓮寺ダム	15,400	10,301	67%	94%
室生ダム	8,150	3,889	48%	70%
布目ダム	9,000	8,327	93%	93%
比奈知ダム	9,400	8,132	87%	94%
川上ダム	14,800	14,448	98%	

※貯水量・貯水率は当該日の0時値。

※平年の貯水率は、各ダムの管理開始から令和7年までの平均値。

※川上ダムは、現在試験湛水中。



木津川ダム総合管理所の概要

【高山ダム諸元】

型式：アーチ重力式コンクリートダム
目的：F NWP
堤体積：約214千m³
堤高：67.0m
堤頂長：208.7m
流域面積：615.0km²
湛水面積：2.6km²
管理開始：昭和44年8月
所在地：京都府相楽郡南山城村

【川上ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
目的：F NW
堤体積：約455千m³
堤高：84.0m
堤頂長：334.0m
流域面積：54.7km²
湛水面積：1.04km²
管理開始：令和5年4月
所在地：三重県伊賀市

【比奈知ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
目的：F NWP
堤体積：約430千m³
堤高：70.5m
堤頂長：355.0m
流域面積：75.5km²
湛水面積：0.82km²
管理開始：平成11年4月
所在地：三重県名張市

【布目ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
目的：F NW
堤体積：約330千m³
堤高：72.0m
堤頂長：322.0m
流域面積：75.0km²
湛水面積：0.95km²
管理開始：平成4年4月
所在地：奈良県奈良市

【室生ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
目的：F NW
堤体積：約153千m³
堤高：63.5m
堤頂長：175.0m
流域面積：169km²
(直接136km²、間接33km²)
湛水面積：1.05km²
管理開始：昭和49年4月
所在地：奈良県宇陀市

【青蓮寺ダム諸元】

型式：アーチ式コンクリートダム
目的：F NAWP
堤体積：約175千m³
堤高：82.0m
堤頂長：275.0m
流域面積：100km²
湛水面積：1.04km²
管理開始：昭和45年7月
所在地：三重県名張市

記号	目的
F	洪水調節
N	流水の正常な機能の維持
A	かんがい用水
W	水道用水
P	発電

■ダムの諸元

ダム型式 : 重力式コンクリートダム
堤体積 : 約153千 m^3
堤高 : 63.5m
堤頂長 : 175.0m
湛水面積 : 1.05 km^2
流域面積 : 169 km^2
管理開始 : 昭和49年4月

■ダムの目的

1. 洪水調節

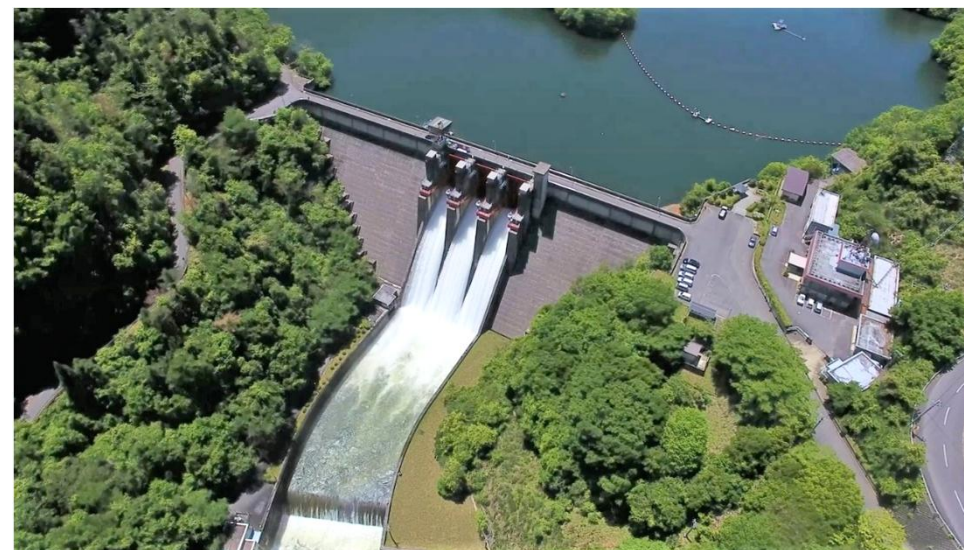
下流河川での洪水被害を軽減することを目的に、ダム地点における計画高水流量730 m^3/s のうち430 m^3/s をダムに貯留し、300 m^3/s をダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

下流河川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水

水道用水として大和平野の各都市に、貯水池から初瀬水路を経て、最大1.6 m^3/s を供給する。



■貯水池容量配分図

